

歴史講座 13:30～15:00

歴史講座③ 源氏物語講座 柏木と女三宮の運命と薫の誕生②
-女三宮の若君(薫)誕生-

日 時:7月23日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

歴史講座④ 鎌倉殿と伊予の武士たち

日 時:8月20日(土)
講 師:久葉 裕可氏(新居浜市市史編さん室専門員)

歴史講座⑤ 源氏物語講座 柏木と女三宮の運命と薫の誕生③

-柏木の死、女三宮の出家、若君(薫)五十日の祝い-
日 時:9月24日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

古文書講座 13:30～15:00

古文書講座① 新谷藩奉行視察記録を読む①-岩谷口村日野家文書より-

日 時:8月28日(日)
講 師:安永 純子(当館学芸員)

古文書講座② 新谷藩奉行視察記録を読む②-岩谷口村日野家文書より-

日 時:9月18日(日)
講 師:安永 純子(当館学芸員)

民俗講座 13:30～15:00

民俗講座② えひめの気になる神さまたち

日 時:9月3日(土)
講 師:佐伯 直紀氏(愛媛県文化振興財団総務事業部)

考古講座 13:30～15:00

考古講座② とっとり弥生の王国プロモーション推進事業 日本海を望む弥生の村と人々

日 時:7月24日(日)
講 師:濱田 竜彦氏(鳥取県地域づくり推進部とっとり弥生の王国推進課)

体験講座

体験講座③ 四国西予ジオミュージアムと穴神洞遺跡を訪ねる **バスツアー**

定員20名
日 時:7月2日(土) 12:00～17:30 (現地集合でも可)
講 師:四国西予ジオミュージアム学芸員
対 象:愛媛県内の小学生～一般 ※小学生は保護者同伴
参加費:1,000～1,500円(予定)
【締切】:6月18日(土)



体験講座④ 一開張り～かごバッグ作り～ **2回連続講座**

定員15名
第1回上張り 7月9日(土) 13:30～15:30
第2回仕上げ 7月16日(土) 13:30～15:00
講 師:木城 香代氏(手仕事工房 雅楽多や主宰)
対 象:小学生～一般 ※小学生は保護者同伴
参加費:3,000円
【締切】:6月25日(土)



体験講座⑤ 松山の近代洋風建築を訪ねる -萬翠荘と愛媛県庁本館-

定員20名
日 時:9月10日(土)
13:00～16:00(現地集合)
講 師:三浦 彩氏
(愛媛県教育委員会文化財保護課学芸員)
対 象:愛媛県内の小学生～一般 ※小学生は保護者同伴
参加費:500～1,000円(予定)
【締切】:8月27日(土)



受講時のお願い

- ①受付時に手指の消毒をお願いいたします。
- ②マスクの着用をお願いいたします。
- ③講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、**開講日の1週間前**までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。

お問い合わせ

企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894) 62-6222 FAX(0894) 62-6161

夏休み期間の開館について

7月20日(水)～9月4日(日)は
休まずに開館しております。



臨時休館のお知らせ

6月21日(火)～6月23日(木)
博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。



展示スケジュール

2022.7-2023.3

2022	7	特別展 「アニメ化30周年記念企画 ちびまる子ちゃん展」 7月2日(土)～9月4日(日)
	8	テーマ展 「長井數秋氏と愛媛の考古学」 7月2日(土)～11月27日(日) ▶夏休みイベント期間 8月13日(土)～8月15日(月)
	9	
	10	特別展 「浄土寺・浄瑠璃寺と写し霊場」 9月17日(土)～11月27日(日) ▶開館記念日イベント 11月13日(日)
	11	
	12	
2023	1	▶新春イベント2023 令和5年1月2日(月)・3日(火)
	2	特別展 「学校の宝物」 令和5年2月11日(土・祝)～4月6日(木)(仮)
	3	

新常設展
密●空と海ー内海清美展
常設展
えひめの歴史と文化

ご利用案内

- 開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上)	540円	440円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	280円	230円
新常設展	観覧無料		

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2022.7-9

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2		1	2	3	4	5	6		4	5	6	7	8	9	10
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE
管理運営:指定管理者 いよつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
●発行日 令和4年6月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

さくらももこから
みんなへありがとう



© さくらプロダクション/日本アニメーション

アニメ化30周年記念企画

ちびまる子ちゃん展

2022年

7/2(土) ▶ 9/4(日)

(休館日/7月5日(火)、11日(月)、19日(火))

開館時間

9:00～17:30

(入館は17:00まで)

開催場所

企画展示室・文書展示室

考古

仏教儀式に使われた焼き物 (奈良二彩の一部)

出土地：西条市真導廃寺
年代：奈良時代
法量：(右)幅5.5cm、長さ6.5cm、厚さ0.8cm
所蔵：愛媛県教育委員会蔵・当館保管



日本では、約15,000年前に縄文土器という素焼きの焼き物が誕生しました。その後も素焼きの土器は、弥生土器や土師器、須恵器と、時代とともに形を変え存在していましたが、7世紀頃、色の付いた釉薬を人為的に表面に施した焼き物が、新しく出現します。この新しい焼き物は、珪酸鉛を主成分とする釉薬が施された焼物(鉛釉陶器)で、呈色剤(釉に固有の色を出させるための成分)に銅の化合物を加えると緑釉、同様に鉄化合物を加えると褐釉や黄釉、何も加えないと透明釉(白釉)になります。はじめは、一色(単色)のものが多かったのですが、8世紀になると二色以上(多色)のものも多く見られるようになり、それらは、一般的に釉薬の色の数により、単彩、二彩、三彩と呼称されます。

*奈良二彩は、テーマ展「長井數秋氏と愛媛の考古学」(会期：令和4年7月2日(土)から)で展示予定です。

奈良二彩や三彩は、一見、中国の唐三彩と色調等が類似していますが、これまでの研究により、唐三彩とは鉛の原材料、胎土、焼成

温度が異なっており、造型意匠も、同時代の日本の日常雑器であった土師器や須恵器に似ていることから日本国内で作られたとされています。

本資料は、緑と黄の釉薬が施された奈良二彩の一部で、今のところ、ここ以外には県内で見つかっていません。真導廃寺で出土した瓦のうち、類似のものが平城京(奈良市)で見つかっていることから、この奈良二彩も仏教儀式の道具として、畿内から持ち込まれた可能性が考えられるのではないのでしょうか。

(専門学芸員 亀井 英希)

歴史

新幹線岡山開業・ 四国特急新設記念入場券

年代：昭和47(1972)年
法量：6.1×14.9cm
所蔵：当館蔵

1972(昭和47)年3月15日、新幹線の岡山開業にあわせて、四国初の特急列車が登場しました。今回は、国鉄が発行した高松駅の記念入場券を紹介します。

入場券は4枚組で、封筒には山陽新幹線を図柄にした「鉄道100年記念」切手が貼られ、「宇和島駅前 47.3.15」の消印が押されています。入場券には、①新幹線・宇高連絡船・181系特急、②主要都市間の所要時間、③特急「しおかぜ」(高松～松山・宇和島)、④特急「南風」(高松～高知・中村)がデザインされています。

特急「しおかぜ」は、高松～宇和島を2往復、高松～松山を1往復し、最速で高松～宇和島を4時間34分で結びました。当時、急行「うわじま」(高松～宇和島8往復)の平均所要時間は約5時間36分でした。特急列車はまだ便数が少なかったものの、四国内だけではなく中国・阪神方面との高速化を図りました。

特急「しおかぜ」は7両編成で、最高時速は95km(1987(昭和62)年から110km)。途中の停車駅は、新居浜、今治、松山、伊予大洲または八幡浜の4駅でした。その後、特急「しおかぜ」は停車駅を増加させながら、1986(昭和61)年にステンレス製の185系を、90(平成2)年に制御付振り子車両の2000系を本格的に導入し、93(平成5)年に初代の181系は現役を退きました。

今年には四国に特急列車が登場して50年になります。現在、四国では新幹線の実現に向けた取り組みが行われています。これを機会に四国における鉄道の歴史を振り返り、将来の在り方を考えてみてはいかがでしょうか。



(専門学芸員 平井 誠)

テーマ展

長井數秋氏と愛媛の考古学

令和4年

7月2日(土)～11月27日(日)

場所：考古展示室

観覧料：常設展観覧料

(高校生以上540円、65歳以上280円、小中学生無料)

1935(昭和10)年、周桑郡壬生川町高田(現：西条市高田)で生まれ、県立高等学校の社会科教員として教鞭をとってきた長井數秋氏(伊予郡砥部町在住)は、これまで多くの遺跡の発掘調査を行ってきました。

本展では、氏が当館に寄贈された発掘調査等で撮影した写真をパネルで紹介するとともに、調査した主な遺跡の出土遺物を展示し、愛媛の考古学に貢献してきた氏の足跡を紹介します。



弥生土器甕
【松山市西野山遺跡】



西条市八堂山遺跡F号住居跡調査
【昭和46年撮影】



鉄製鋸先
【松山市釈迦面山遺跡】



西予市城川町穴神洞遺跡遠景
【昭和40年代後半撮影】

特別展

アニメ化30周年記念企画

ちびまる子ちゃん展

ご案内

1986年、少女漫画雑誌「りぼん」(集英社)で連載が開始した「ちびまる子ちゃん」は、1990年にアニメ放送が始まり、2020年に放送開始30周年を迎えました。

本展では、セル画、スケッチ画、絵コンテ、映像など約350点を展示し、アニメ製作の裏側を紐解きます。また、2018年8月に急逝された原作者さくらももこ先生の直筆脚本やキャラクター設定資料、プライベート作品なども展示し、アニメへの想いや日々の暮らしに迫ります。



「おかつぱ・かつぱ」の巻 セル画【1990年】



劇場用映画「ちびまる子ちゃん」ポスター【1990年】
© さくらプロダクション/日本アニメーション

令和4年

7/2(土) ▶ 9/4(日)

(休館日/7月5日(火)、11日(月)、19日(火))

観覧料：高校生以上1,000円、
65歳以上600円、小中学生500円
※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

れきはくのおしあと

特別展「なばたとしたか こびとづかんの世界展」は初日から沢山の方にお越し頂きました。2年ぶりの行動制限がないゴールデンウィークということで、予想以上のお客様にご来館いただき、スタッフの対応もあたたかたしてしまいました。展示だけでなくワークショップにも多くの方にご参加いただき、こびとづかんのキャラクターを入れる「ウォータードーム」作りは連日完売。布用ペンで色塗りをする「こびとづかんオリジナルサコッシュ」作りは小さなお子さんも楽しまれていました。「耳飾り」作りは好きなビーズなどを選んで自分好みの色の耳飾りを作ります。夏の「ちびまる子ちゃん」展も、たくさんの方にご来館いただき、楽しんでいただけるよう工夫していきたいと思っております!

